

平成28年度「学校アンケート」集計結果と分析について

12月に実施しました「学校アンケート」（生徒用「学習と生活アンケート」、保護者用「学校教育アンケート」）の結果をまとめましたので報告します。ご協力ありがとうございました。

集計の結果は、裏面のグラフをご覧ください。それぞれの項目ごとに、左から、「Aあてはまる」「Bどちらかと言えばあてはまる」「Cあまりあてはまらない」「Dあてはまらない」の順になっており、パーセントで表示しています。

1 グラフの見方

結果を分析するに当たり、一般的に肯定的回答の割合（ここでは、「Aあてはまる」と「Bどちらかと言えばあてはまる」の合計）が60%以上であれば、「おおむね良好」とみなし、40%以下なら「評価が低い」と見て今後の課題となりますが、数値にかかわらず、改善に向けての取組を進めます。

なお、グラフは、肯定的回答率の高い項目から並べています。

2 評価が高い項目（上位5項目）＊行頭の数字は項目番号を、（％）の数字は肯定的回答率を表しています。

生徒	12 学校では、社会のルールや責任を持つことの大切さについて学ぶ機会がある。（98%）
	24 学校の施設・設備はよく整っている。（96%）
	22 部活動に積極的に参加している。（96%）
	25 地震や火災が起こった場合、どのように行動したらよいか知っている。（95%）
	20 生徒会活動や委員会活動に積極的に取り組んでいる。（93%）
保護者	2 各種広報（学年通信、PTA 広報、ホームページ、新聞掲載記事など）により、学校や子どもたちの活動の様子が伝えられている。（100%）
	25 ボランティアによる学校支援活動（環境整備、図書室整備、国際交流推進、3年生面接練習、青パト乗車など）は今後も推進すべきである。（96%）
	23 学校は、環境整備に努めている。（94%）
	24 学校の施設・設備はよく整っている。（94%）
	15 学校行事等では、充実した活動が行われている。（94%）

3 評価が低い項目（下位5項目）＊行頭の数字は項目番号を、（％）の数字は肯定的回答率を表しています。

生徒	4 授業中、進んで発表している。（45%）
	14 悩みや相談事など、気軽に相談できる先生がいる。（47%）
	10 学校では、進路（高校や職業）についての情報をよく知らせてくれる。（50%）
	6 シラバスを見て、計画的に学習するように意識している。（54%）
	7 テスト前の「学習相談」や「コンピューターを利用した問題演習（eライブラリー）」、終わりの会の「学びタイム」に進んで取り組んでいる。（70%）
保護者	8 子どもは、家庭でもよく学習している。（56%）
	20 子どもの話す力や表現力が高まってきている。（65%）
	9 学校は、子どもの進路に関する情報提供に努めている。（65%）
	7 子どもは、授業が分かりやすいと言っている。（68%）
	5 「シラバス」や「学ナビ」など、子どもが意欲的に学習できるよう工夫をしている。（69%）

4 アンケート結果より

生徒1(本年%←昨年%)、保護者1(本年%←昨年%)の生徒1、保護者1はアンケート項目1、(本年%)の数字は28年度、(昨年%)の数字は27年度の肯定的回答率を表しています。

- (1) 「学校に行くことが楽しい」について、生徒1(84%←88%)・保護者1(84%←86%)の回答をいただきました。このことは、生徒19(92%←92%)・保護者21(82%←84%)、生徒20(93%←80%), 22(96%←85%)、保護者15(94%←88%), 22(92%←88%)の結果から、取組が充実しているように思われます。生徒14「悩みや相談事など、気軽に相談できる先生がいる」(47%←51%)、保護者10「学校は、子どもの悩みや相談事などに適切に関わってくれていると思う」(74%←59%)については、スクールカウンセラーの巡回相談制度や「先生と話そうタイム」などの日常の取組が役立っていると捉え、一層の生徒理解を進めます。
- (2) 「わかりやすい授業」について、生徒3(87%←82%)・保護者7(68%←63%)、「シラバスや学ナビ」の取組を保護者5(69%←69%)のように評価いただいています。生徒7(70%←82%)・生徒6「シラバスを見て、計画的に学習するように意識している」(54%←19%)から、シラバスや学ナビをテスト前だけではなく、普段から復習や予習に活用することによって、授業中の理解も進み、生徒4「授業中、進んで発表する」(45%←34%)の改善に役立っていると考えられます。本年度の研究主題「主体的に学習に取り組み、学びを発信・交流し合える生徒の育成」を推進するため、自主性を高め、能動的に活動できるよう、タブレット等情報機器の導入と活用を進めています。
- (3) 家庭学習について、生徒8(73%←78%)・保護者8(56%←45%)から徐々に定着していると考えられます。更に習慣化するため、インターネットを利用したeライブラリーの活用を検討しています。ご家庭の協力をお願いします。
- (4) 「あいさつ」については、生徒16(91%←79%)・保護者19(77%←76%)、「表現力向上」については、生徒15(71%←61%)・保護者20(65%←69%)の結果がでています。これらを、生徒4「授業中、進んで発表する」(45%←34%)に重ねると、日頃のあいさつやスピーチが学習場で発揮されていることがわかります。表現力向上には、基礎的な力としての理解力(考える力や聞き取る力)を高めることと、交流の場面を増やすことが大切と考えます。
- (5) 「国際理解や国際交流」について、保護者13(90%←90%)の肯定的な回答をもらっています。村ALT(外国語指導助手)の継続配置や、学校支援ボランティア皆様による奈良教育大学留学生の招致を活用した取組が、生徒の意欲や関心を高めていると生徒13(86%←75%)から、受け止めています。英語検定試験の実施やスピーチ大会への参加も継続していきます。
- (6) 「目標を持って学校生活を送っている」について、生徒2(82%←71%)・保護者3(72%←69%)の回答が、また、「将来の進路や生き方」について、生徒9(72%←77%), 10(50%←75%)、保護者9(65%←67%)の回答がありました。社会が大きく変化する今日、3年間を見通してキャリア教育・進路指導を進める必要があります。ご家庭の協力をお願いします。
- (7) 「地域ボランティアによる学校支援活動」の推進について、保護者25(96%←98%)の理解をいただいています。PTA組織と協働の学校諸行事を、学校支援組織とも協力して進めてきたことが、高い評価につながっていると捉えています。

お寄せいただいたご意見を参考にして、課題を整理し、次年度に向けて、教育の営みを進めていきたいと思います。また、「学校での子ども達の様子を知っていただく」ことについて、1日参観を継続したこと〔保護者17(88%←90%)〕、また、ホームページの更新等各種広報〔保護者2(100%←94%)〕が役立っていると捉え継続します。これまで同様、各種行事にご参加いただき、ご覧いただければ幸いです。